

「核兵器禁止条約」への署名・批准を求める意見書採択に関する

陳情書

討論要旨 山下幹雄議員

陳情書には多くの市民の皆様のご署名をいただき、思いが詰まったことを深く受け止めております。その中で説明もいたしました。今、この時点で私たち議会がこれを承認して国に提出することが本当に責任のある議会としての立場なのかを何度も何度も振り返りました。

私は22年前も昔の話ですが、横田めぐみさんが北朝鮮に拉致をされたんじゃないか、当時ですね。ということで、多くの方々が拉致をされたという事実がなかったんですが、そうしたことを訴え、国にこの交渉を進めるようにする署名活動もしました。当時は、私たちのこの活動を見る人たちは、右翼の活動というレッテルを貼りました。何で日本人がよその国に連れ去られて、苦しめられているのか死んでいるのか分からない状況下で、この活動をすることが何で右翼なんだと憤りを覚えました。世論はそういうものでありました。しかし今現在、国も横田めぐみさんが拉致されていることを認定し、交渉も続けています。これ核兵器とどこが関係するんだと思われるかもしれませんが、核兵器廃絶、右翼であろうが左翼であろうが関係ありません。悪いことは悪いし、よくないことはよくない。何のためにやるのか、次の世代のため、未来のため、そして今生きている人たちのためにやらなくちゃいけないということは十分承知しております。

先ほどの趣旨採択は、その中で最善を尽くす、議会は市民の皆様から選ばれた議員。よく議論をして、本当に必要な時間帯に市民から言われたからじゃなくて自分たちの手で提出をしようじゃありませんかという提案が先ほどの趣旨採択でありました。御理解がいただけたかどうかは分かりませんが、このことを踏まえながら、大変残念ではありますが、この陳情にすぐ採択をする意思がない、一生懸命このことについて真剣に取り組む覚悟を表明しながら、今回は反対票を投じさせていただくということを表明させていただく討論とさせていただきます。